



仙台支部 H22 年度第一回理事会・仙台興譲館新入寮生歓迎会 4月17日

米沢有為会 仙台支部だより

第5号

平成22年5月19日

発行者

(社)米沢有為会仙台支部

支店 甲 國信

仙台市青葉区二丁目6-13-402

TEL 022-215-0236



桜と春の大雪の榴ヶ岡公園 4月17日



中條先生宅寮生招待お花見 4月17日

有為会の近況

仙台支部長 甲 國信



年が明けたと思ったらもう5月です。今年の春は、咲き出した桜に雪が積もる異常さで、なかなか春を実感できませんでした。5月に入って、どうにか平年並みの気温に落ち着いてきました。が、支部会員の皆様はいかがお過ごしでしょうか。

昨年11月の120周年記念事業を終えて、有為会は本部、支部ともに平年通りの活動に戻りました。

有為会の財政は極めて窮屈です。会の支出は年約1000万円ですが、会費収入は約450万円にすぎません。支出内容は事業費（寄宿舎・我妻栄記念館修理運営費、顕彰費等）約50%、管理費（事務費、会議費、通信費等）約30%、支部活動費約20%となっていますが、会員一人当たり、会費平均納入額が約4000円に対し、会運営経費の管理費だけでも約3000円を要しており、会の今後を考える上で重要な問題です。

120周年記念事業として実施した東京と仙台的寮大改修には、6000万円の経費を要しました。積立修繕基金の不足分を、奨学基金から1600万円の借用を行って充当しており、この返済に記念事業協賛金が充てられることになっています。4月24日現在の協賛金は、会員や舎生OB450名の方から850万円が集まっています。が、目標額2千万円の40%強に留まっています。協賛金募集は11月までですので、ご協賛頂ける方は、早めに宜しく願います。

昨年の大改修で増加が期待されましたが、仙台の今春の新入寮生は2名に留まり、年度末の卒退寮2名と相殺となり、寮生数は13のままです。健康な食事を賄って頂く寮母さんをお願いし、経済的寮費に押さえる為には18名程度の寮生数が必要ですので、毎年5〜6名の新入寮生が望ましく、会や寮生会から、米沢市他置賜各市町、各高校、県にPR案内が送られていているのですが、ここ数年入寮希望者数の低迷が続いています。仙台の場合、アパートの家賃は3〜4万円程度ですから、仙台興譲館に入れば、年間40〜50万円位親の負担が少なくなります。これだけの経済的メリットがあるにも拘わらず希望者が少ないのは、共同生活が敬遠されるという事だろうと推測

されますが、寮の共同生活経験が、コミュニケーション能力やリーダーシップ、協調性等の、社会生活に必要不可欠な人間形成や能力形成に役立っている事は舍生OBの多くの方々が実証しております。

仙台支部としては、経済的メリットはもちろんのこと、寮生活で得られるものを、様々な手段で、これまで以上に広報して行かねばならないと思っています。会員の皆様におかれましても、郷里の縁戚、知人に、仙台で勉学可能性のあるご子弟がありましたら、是非入寮をお勧めいただきたく思います。

理事会報告

22年1月から4月末までの間に、平成21年度第7回(3月7日)と22年度第1回(4月24日)の2回の理事会が開かれました。

3月7日・平成22年度予算案、公益法人認定・奨学生採用数について

4月22日・平成21年度事業報告、決算報告、平成22年度奨学生貸費生選考、寄宿舎新入舎生決定の件、育英事業募集要領、公益法人認定に向けての準備状況と今後の

対応の件

有為会は平成20年12月に施行された法人制度改革に対応し、育英事業(奨学金貸与と寄宿舎運営)を核に、会員相互の親睦、教育の奨励、文化や産業の振興に取り組んできた会の今後の活動の発展を図るには、現在同様の税制優遇措置を受けられる、新制度における「公益社団法人」への移行が最も望ましいと考え、その為にクリアしなければならぬ申請のための準備を、公益認定準備委員会を中心に進めています。3月7日の理事会で進捗状況説明があり、今後の取り組み事項を確認しました。今後、より具体的に検討し、年末に案を纏め、平成23年の総会で承認を受け、23年度中の公益認定申請を目指しています。(甲記)

中條仁前仙台支部長

永年功勞で表彰

昨年の11月15日に東京代田区都市センターホテルで開催された120周年記念祝賀会に於いて前理事・本部相談役の中條仁前仙台支部長が永年功勞で表彰されました。これまでのご苦勞に感謝し、心よりお祝い申し上げます。



仙台支部年間行事予定

- ☆6月12日(土)
 - 平成22年度仙台支部通常総会 (仙台ビジネスホテル 261-5711 県庁北近く) 16時より 支部総会・中條名誉顧問(前支部長) 記念講演会(ロコモ(骨粗鬆症等の高齢者運動器機能疾患)について)・懇親会
 - ☆6月27日(日)
 - 平成22年度米沢有為会通常総会・懇親会 (会場 伝国の杜)

☆10月9日(土)

■秋の交流会(芋煮会) 昨年同様寮生父兄も招待して

会場：寮傍 牛越橋下廣瀬河

☆11月又は12月) 寄宿舎OB会

☆(11月又は12月) 置賜人会

☆12月18日(土)

■第2回支部理事会・忘年会

(会場：仙台興讓館/寮生会主催)

☆1月22日(土)

■新年会 (会場：仙台興讓館/寮生会主催)

☆2月27日(土)

卒寮生を送る会(館長自宅)

☆3月19日(土) 第一次入寮面接

☆3月26日(土) 第二次入寮面接

☆平成22年度仙台興讓館年間行事予定

- 3月20日 寮生総会
- 4月 4日 大掃除
- 4月17日 寮生総会
- 5~6月中 娯楽レクレーション行事
- 10月2日 大掃除・寮生総会・ボーリング大会
- 11月中 娯楽レクレーション行事
- 1月14日 どんと祭
- 2~3月中 温泉旅行
- 3月19日 寮生総会

仙台興譲館だより

☆平成21年度仙台興譲館卒・退寮生

宇山 裕人君 (東北大学法学部H22卒)

卒) [米沢興譲館H18]

郷野 辰幸君 (東北大学大学院医学系研

究科分子機能解析学分野D後期課程

1) [米沢興譲館H12]

☆新寮長(塩田紳)挨拶

東北大学法学部新3年の塩田紳です。

今回の寮生総会におきまして私が平成

22年度の仙台興譲館寮寮長をやらせ

ていただくことになりました。前任の

荒井さんをはじめ歴代寮長の方々にな

らって、寮生全員が気持ちよく生活で

きるように努めていきたいと思いま

す。又、遠藤君、太田君の2名を新年度

の新入寮生として迎えることとなり、

寮生13名、興譲館寮生としての自覚

を持って生活していこうと思います。

なにぶん慣れないことが多く、迷惑

をおかけすることもあるかもしれませ

んが、ご指導のほどよろしくお願

い

☆新入寮生自己紹介

遠藤季通(トシミチ)君(東北大学経済学

部1) [米沢興譲館H22] 会計係

私は今春より東北大学経済学部へ

進学します。そのために仙台興譲館

へ入寮を希望しました。入寮を希望

したのは住生活、食生活に安心でき

るからです。そして、大学生活での

目標ですが、私は経済の仕組みを理

解し、その知識を生かす技術を身に

つけたいと思います。

太田高人(シュウト)君(東北工業大学工

学部知能エレクトロニクス学科1)

[米沢中央H22] 厚生係

私は、ロボットを作るという夢を

かなえるため、東北工業大学知能エ

レクトロニクス学科に入學しました。

入学にあたり寮に入ろうと思ったの

は、1人暮らしでは経験できない

様々なことを先輩方と過(こ)してい

く中で経験できると思ったからです。

今後は、特待生になるため、最先端

技術を身につけるため、日々勉学に

励んでいきたいと思

☆仙台興譲館 寮生名簿

那須 譲治(東北大学大学院理学研究科

D後期課程3) [長井H14] 厚生

係

荒井 達矢(東北学院大学経済学部4)

[米沢中央H19] 広報係○

島森 拓土(東北大学理学部4)

[米沢興譲館H18] 厚生係

宮坂 匡(東北学院大学経済学部3)

[米沢中央H19] 娯楽係

塩田 紳(東北大学法学部3)

[山形東H20] 寮長

島貫 洋平(東北大学文学部人文社会学

科3) [長井H20] 防災係

高橋 玄(東北福祉大学総合福祉学部

3) [日大山形H20] 防災係○

青木 謙人(東北大学工学部材料科学

総合学科2) [米沢興譲館H21] 娯

楽係○

安部 玄樹(東北大学法学部法学科

2) [米沢興譲館H21] 厚生係○

佐藤 文洋(東北大学医部保健学科放

射線技術科学専攻2) [長井H21]

会計係○

原田 学思(東北大学工学部機械知

能・航空学科2) [米沢興譲館H21]

ネットワーキング係○兼娯楽係

(最後は寮の係、○リーダー)

東京興譲館訪問

3月7日、4月24日に東京興譲館

で本部理事会がありました。改修後の

状況の写真報告です。

NHK朝の連ドラ「ゲゲゲの女房」

の水木しげる画伯宅があった調布市京

王線仙川駅から桐朋学園音楽部校舎を

経由して徒歩10分、入間町一丁目バ

ス停真ん前にあります。新宿から京王

線仙川駅、小田急線成城学園前駅のい

ずれかで行けます。(御供 記)



註：1〜3階南外壁(右手)に耐震補強鉄骨ブレースがつき、左の階段室が防火区画されました



註：手前は上杉記念室(応接・会議室)。奥は食堂兼学生会室。

行事報告

☆1月23日 新年会兼卒業生(宇山君、郷野君) 歓送会



☆3月20日 新入寮生面接 遠藤君 太田君入寮(仙台真議館)



☆3月27日 館長宅 卒業生(宇山君、郷野君) を送る会



新入会員紹介

☆平吹 隆一さん 仙台市太白区鉤取 特別会員 東北工業大学教授 舎生OB 興議館高校S38 米沢 市城西出身 東北大学工学部卒 *このたび甲さんからお話を頂きましたので、会員になることぐらいいいかお役には立てませんが、どうぞよろしくお願いいたします。

☆太田秀樹さん 米沢市東 通常会員 山形県職員・東南置賜総合支庁農業技術指導(高畠町) 興議館高校S61 米沢市出身 H22入寮太田嵩人君(今年の卒業生郷野君の従兄弟)の父上岩手大学農学部卒

☆遠藤季通くん 米沢市林泉寺(遠藤由香様方・帰省先) 通常会員 仙台興議館舎生(新入寮生) 興議館高校H22 東北大学経済学部1年在学中(寮たより 新入寮生紹介欄参照)

会員住所変更

☆廣瀬 純さん 新住所:980-0811 仙台市青葉区一番町1丁目4-30 さのやビル3階(SSCミュージカル研究所) TEL・FAXは変更無し

山形大学工学部創立100周年

記念式典・記念祝賀会

連休後半、初夏を思わせる暑さの5月4日、松川に鯉のぼりが泳ぎ、土手の桜並木が桜吹雪舞い散らせる米沢で山形大学工学部創立100周年記念式典(於米沢市民文化会館)・記念祝賀会(於東京第一ホテル米沢)が挙行されました。米沢有為会の本部役員にも招待状が届き、山大工学部出身の本部役員の他仙台支部からも甲支部長と御供理事が参列しました。

記念講演会は、帝人(株)代表取締役社長CEO大八木成男氏と(株)ユアテック社長(前東北電力副社長)大山正征氏(1966山大工学部卒)のお二人が講師で、大八木氏は「米沢から始まった日本の化学繊維〜帝人の発展戦略〜」と題して、帝人創業者の一人米沢工業高専 秦 逸三教授の貴重な映像等も交えながら、米沢に発する帝人の歴史から現在のグローバル世界戦略まで視野広大なお話しを頂きました。大山氏は、「電気事業の役割と課題〜地域と共に60年〜」と題して、初代会長白洲次郎氏のエピソードから東北初の水力発電所・仙台三居沢発電所、山形県初の水力発電所・米沢滝の沢(現

小野川)発電所等の映像等も交えながら、(東北六県+新潟の)東北電力の歴史から今後の電源のベストミックスの展望までをお話しを頂きました。

祝賀会では中高の同期生多数に会い、今更ながら進学比率最大の山大の存在を認識。近年ノーベル賞受賞者を続出させるとの意気盛んな暑さに圧倒されつつ、山形各地の美味しいお酒を堪能して帰仙しました。

尚、18時から伝国の杜置賜文化ホールで、山形大学工学部創立100周年及び米沢市制120周年記念事業として、仙台支部会員廣瀬純氏がプロデュースした、米沢初の市民ミュージカル『Faida(信念・信賴)未来を紡ぐ実験室〜秦 逸三・挑戦のストーリー〜』(出演者は全員オーディションで決定した米沢市民)が好評のうちに上演されました。(御供記)



帝人創業者の一人、秦 逸三教授



紡糸室



当初の西駅傍(旧米三中跡)から館山に移った初期帝人米沢工場



社員食堂(厚生施設も整っていた)



テニスコートもあった

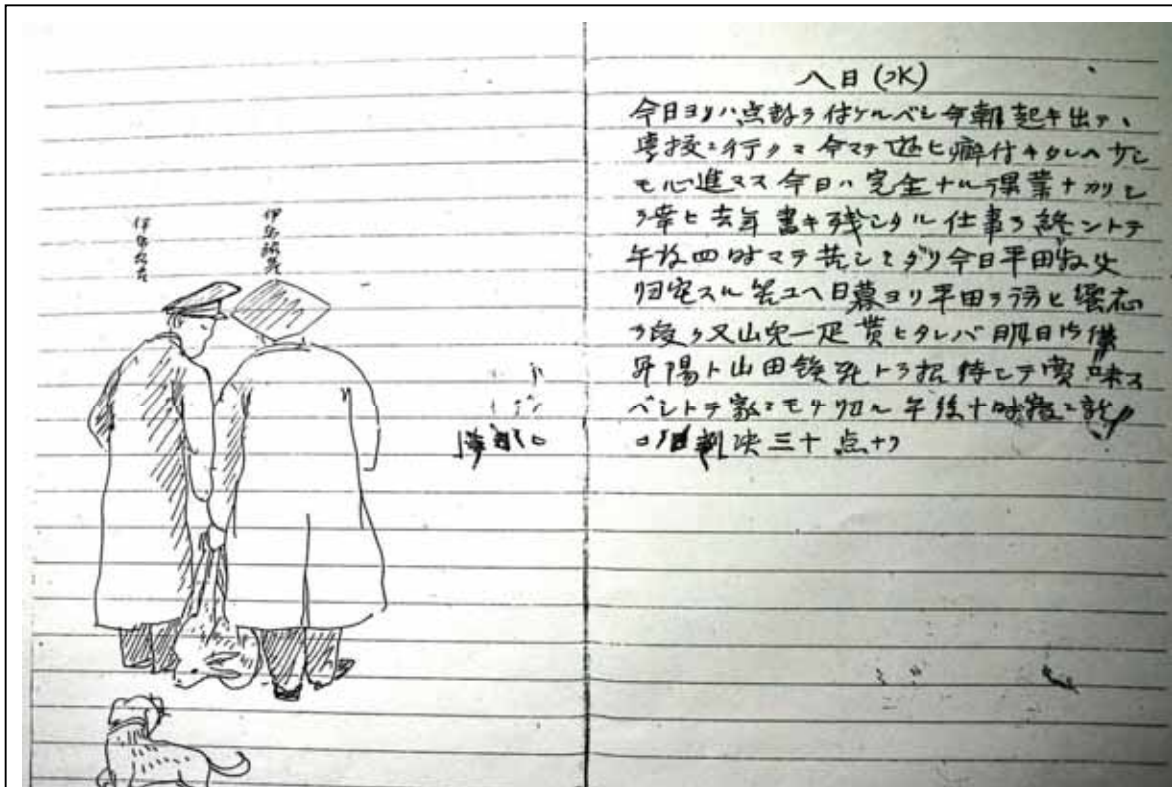
会員の交流を促進し輪を広げる、趣味の会や町のおもしろどころ探訪等の臨時行事やゴルフ・釣り・小旅行・トレッキング・史跡探訪・食へ歩き・料理・園芸・造園・写真・絵・書・俳句・同人誌・茶・華・ダンス等の、有為会・興譲館寮への理解を深めて頂く為の講演会・親睦会（興譲館・米工・東高・長井高校等の同窓会との共催も検討）などを事業委員会にて企画して頂き、支部だよりの他にメール等の連絡網で広報する予定です。

浮よのたび5

(米沢有為会生みの親 伊東忠太氏の日記) — その5

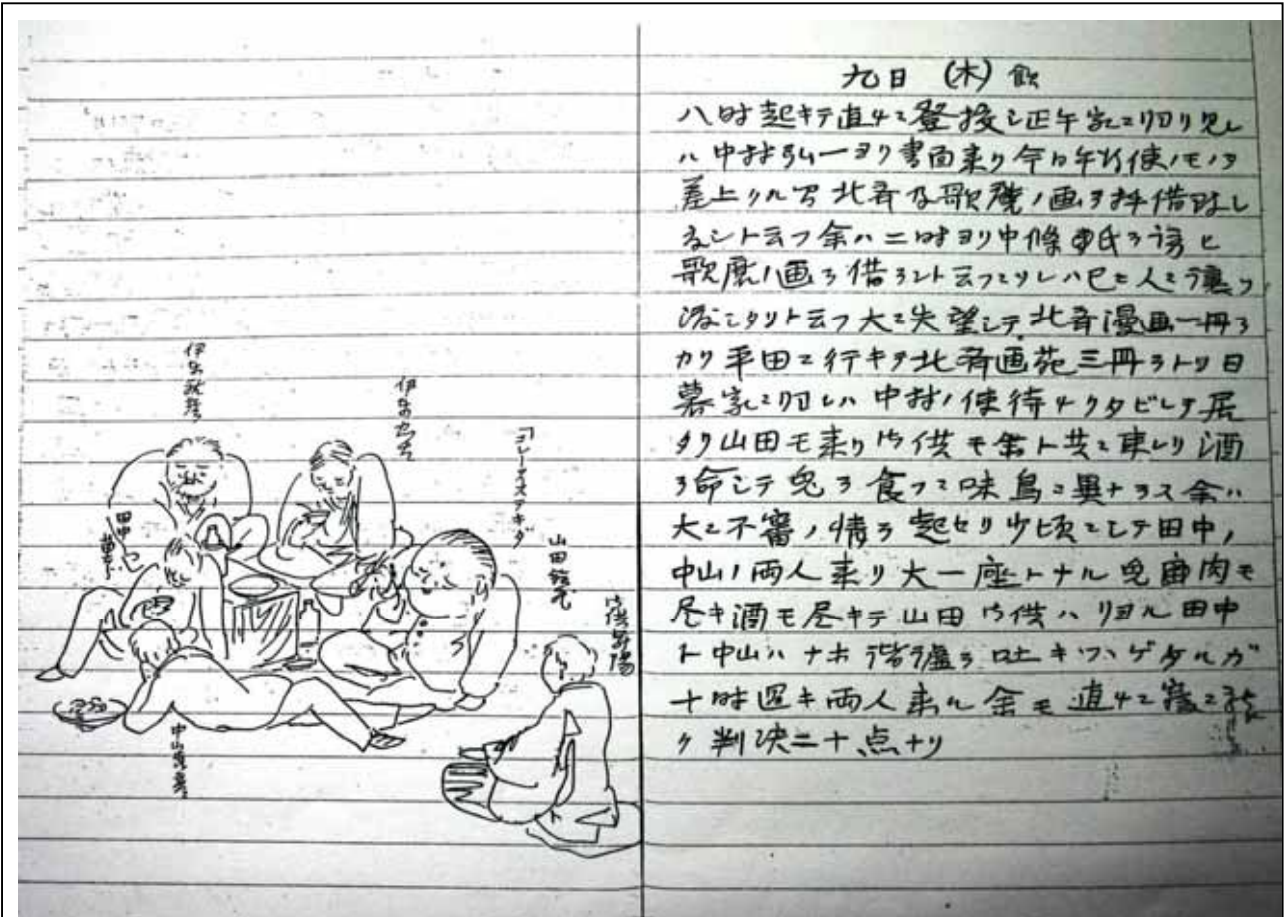
伊東忠太ら学生6名が発起人となり明治22年11月23日(神嘗祭)有為会が結成されたいきさつは、有為会誌創立100周年及び110周年特集号(松野良寅氏記)に詳しい。今回連載する日記は翌23年の元旦から、1月11日欧遊館での米沢大親睦会で忠太が同士加入要請演説をぶった日迄の分である。

当時忠太氏らは空橋時代と自称した合宿状共同生活を送り切磋琢磨していた。(御供記)



伊東忠太 伊東祐彦
山兔
山兔をみつけた通りすがりの犬

八日(水)
今日ヨリハ点数ヲ付ケルベシ
今朝起キ出テ 學校ニ行クニ 今マテ
遊ヒ癖付キタレハ少シモ心進マス
今日ハ完全ナル課業ナカリシヲ幸ヒ
去年 書キ残シタル仕事ヲ終ントテ
午後四時マテ苦シミタリ
今日 平田叔父帰宅スル筈ユヘ日暮ヨリ
平田ヲ訪ヒ饗応ヲ受ク
又山兔一疋貰ヒタレバ
明日 御供昇陽*ト山田鉄蔵トヲ招待シテ
賞味スベシトテ
家ニモチ帰ル
午後十時寝ニ就ク
コノ判決三十点ナリ



九日 (木) 飲
 八時起キテ直チニ登校シ 正午家ニ帰り見レハ
 中村弘一ヨリ書面来リ 今日午後使ノモノヲ差上クル間(?)
 北齋及歌麿ノ画ヲ拝借致シ度シト云フ
 余ハ二時ヨリ中條氏ヲ訪ヒ 歌麿ノ画ヲ借ラント云フニ
 ソレハ已ニ人ニ譲リ渡シタリト云フ
 大ニ失望シテ北齋漫画一冊ヲカリ
 平田ニ行キテ北齋画苑三冊 ヲトリ 日暮家ニ帰レハ
 中村ノ使 待チクタビレテ居タリ
 山田モ来リ 御供モ余ト共ニ来レリ
 酒ヲ命シテ 兎ヲ食フニ 味 鳥ニ異ナラス 余ハ大ニ不審ノ
 情ヲ起セリ 少頃ニシテ田中、中山ノ兩人来リ 大一座トナル
 兎肉モ尽キ 酒モ尽キテ 山田 御供ハ帰ル
 田中ト中山ハ ナホ諧謔ヲ吐キツツケタルガ
 十時過キ兩人来(帰の誤?)ル 余モ直ニ寝ニ就ク
 判決二十点ナリ

伊東祐彦 伊東忠太
 田中苗太郎 「コレアーステキダ」 山田鉄蔵
 中山*彦 御供昇陽(当時満18才)

九日 (木) 飲
 八時起キテ直チニ登校シ 正午家ニ帰り見レハ
 中村弘一ヨリ書面来リ 今日午後使ノモノヲ差上クル間(?)
 北齋及歌麿ノ画ヲ拝借致シ度シト云フ
 余ハ二時ヨリ中條氏ヲ訪ヒ 歌麿ノ画ヲ借ラント云フニ
 ソレハ已ニ人ニ譲リ渡シタリト云フ
 大ニ失望シテ北齋漫画一冊ヲカリ
 平田ニ行キテ北齋画苑三冊 ヲトリ 日暮家ニ帰レハ
 中村ノ使 待チクタビレテ居タリ
 山田モ来リ 御供モ余ト共ニ来レリ
 酒ヲ命シテ 兎ヲ食フニ 味 鳥ニ異ナラス 余ハ大ニ不審ノ
 情ヲ起セリ 少頃ニシテ田中、中山ノ兩人来リ 大一座トナル
 兎肉モ尽キ 酒モ尽キテ 山田 御供ハ帰ル
 田中ト中山ハ ナホ諧謔ヲ吐キツツケタルガ
 十時過キ兩人来(帰の誤?)ル 余モ直ニ寝ニ就ク
 判決二十点ナリ

御供昇陽 注記者の祖父。

明治4年生。御供昇徳英政の長男。〔父御供昇徳英政は白鷹町五十嵐家次男に生まれ、長崎にてシーボルトに洋医を学んだ上杉家藩医伊東昇迪の門下生となる。明治2年、高山村（現川西町中郡高山）御供総本家36代徳次三妹まつの婿に迎えられ総本家東向いに新家創設・診療所開業（現御供家）。入籍時、師昇迪、義兄徳次から夫々一字を貰い改名（政は御供家累代継承の一字）。明治24年6月19日没、享年50才〕私立米沢中学（現米沢興譲館高校）から旧制一中、旧制一高（現東大）。一高でボート部エイトの4番（身長約180cm）。千葉医専卒業後千葉医専独逸学教員。学生時下宿した千葉の医家小出家娘タキ（母は天璋院篤姫の大奥御祐筆）を娶り明治35年(30才)帰郷開業。当時日本医学の最大の課題は富国強兵でそのため最優先とされたのはトラホームなどの眼病予防であり、昇陽も眼科専門医資格をとり田舎での呼称は「眼医者」だったようだ。県日本医師会副会長、日本医師会議員、中郡村村長(昭和5~13年)等を歴任。昭和13年10月9日現職村長のまま没、享年68(満66)才。

総本家従兄弟資泰の娘 正子(呼称マキ)は日本女子大助教時(昭和)に東宮妃に決定直後の昭和皇后、良子内親王東宮妃女官団の教育係兼寮監を拝命し宮中に入り永らく勤める(昭和64年昭和天皇崩御同年没)。 三弟信三(米沢興譲館中学から旧制一高、東京帝大医学部卒)は軍医として森嶋外(林太郎)指揮下日露戦争に従軍、その長男信義は東京瓦斯に入り小幡常夫元有為会長と席を並べる。

就学中に父昇徳が没した為、在京中は平田東助卿を始めとする父の師家伊東家の方々にはひとかたならぬ援助をいただいたようである。 注記：仙台興譲館長 御供政敏

編集後記

波をチャップチャップチャップ
掻き分けて
雲をスイスイスイスイ
追い抜いて
ひょうたん島はどこへ行く
僕らに乗せてどこへ行く
丸い地球の水平線に 何かが
きつと待っている
苦しい事もあるだろサ 悲しい
事もあるだろサ
だけど僕らはくじけない 泣く
のはいやだ笑っちゃおう
進めく ひよっこり
ひょうたん島く
4月9日、井上ひさし先生が帰
天された。生家も近く、ひよっこ
りひょうたん島がTV放送された
その日に、テロップを見たとき
に母が「井上(マスコ)さんここ
のひさしさんだ!!」
と叫んだのを聞いた時からその存
在を知り、偶然にも家人の従兄弟
が仙台一高時代の友人でもあり、
又氏が東仙台中学、仙台一高の時
寄寓されたラ・サールホームの脇
のラ・サール会仙台修道院を、こ
れまた氏が大学時代に寄寓された
日野学生寮のあったラ・サール会

本部移転を兼ねて、解体新築する設
計コンペに10年ほど前に採用し
て頂き、氏が寄寓時最も親しくされ
た修道士、石井先生にもご指導賜
り、7年ほど前に新たなラ・サール
会修道院を完成させたご縁もあり、
氏のユーモア溢れた作品の愛読者
でもあり、親近感一杯で昨年の12
0周年記念講演会の拝聴と一言で
もお話しできる事を楽しみにして
たのですが、残念ながら永遠に叶わ
ぬ希望となりました。
氏の訃報を知った途端、頭の中に
冒頭のひよっこりひょうたん島の
テーマソングが浮かび、ハミングし
ながら、この歌に勇気づけられ将来
に希望の光を抱いて育ったんだな
あとしみじみ思いました。
4/13には高校時代からの
親友 小野川扇屋主人マコちゃん、
4/19には暮張新街区や東京オ
ペラシテイ新国立劇場をプロデュ
ースした大学時代からの友人K君
とたて続けに癌でなくなりました。
残ったものとして、残り少ないむ
つかしい人生を、井上先生の方法論
の如く、やさしく、深く、そして
まじめに、送りたいと思う今日この
頃です。
ありがとうございます、
井上ひさし先生。

合掌、そして合唱 「波をチャップ
チャップチャップチャップ掻き分けてく
♪ ♪ (御供 記)

☆編集作業は小生が行っているが、
支部長・館長が途中でいろいろとア
ドバイスを入れてくれる。操作に未
熟なせいか、作業中に表が分裂した
り、写真が消えたりしたり、特に合
成写真は文書を開く度に分裂した
りする。「注文の多い料理店」とい
う感じで、手を加えるほど味付けが
まぶしくなってくる。創造の楽しみよ
りも、イガイガの苦しみである。し
かし、やっとなんかあがった。お味は
どうか。(滝口 記)

編集子
編集長 滝口政彦
発行世話人 御供政敏